

2020年2月期 決算説明資料

株式会社ワイズテーブルコーポレーション

(証券コード： 2798東証第二部)



2020年6月29日

1. 2020年2月期 決算報告と次期の見通し

- 2020年2月期 業績概要
- 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応

2. 当社グループの近況とトピックス

- 当社グループの売上・損益の状況
- XEX（ゼックス）グループ
- カジュアルレストラングループ
- 当社グループの事業セグメント

2020年2月期 決算 業績概要 (計画比・前期比)

単位：百万円（百万円未満切捨て）

【 連 結 】	2020年2月期 通期			2019年2月期 通期		
	当期実績	計画 (注)	計画比	前期実績	前期比	
	構成比	構成比		構成比		
売上高	13,732	13,730	100.0%	13,773	99.7%	
営業利益	131	164	79.8%	▲126	-	
経常利益	232	289	80.1%	16	1,370.8%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	48	182	26.4%	▲666	-	
1株当たり 当期純利益	18.11円	68.65円	-	▲250.42円	-	

(注) 2019年4月19日付で発表した通期計画です

- 計画比：
 - XEXグループ、カジュアルレストラングループともに、一部既存店の売上が低調に推移したものの、その他の既存店は概ね好調に推移(+)
 - 国内外の直営・FC 合わせて9店舗が閉店したことによる売上剥落(-)
 - 当社が運営受託を開始した「BISTRO J_O」による売上寄与(+)
- 全社的な人材関連コストが上昇(-)
- 減損の兆候が認められた店舗等に対する減損損失を計上(-)
- 法人税等調整額44百万円を計上(-)
- 前期比：
 - 「PIZZA SALVATORE CUOMO 聖蹟桜ヶ丘」等の閉店による売上剥落(-)
 - 管理部門等のコスト削減(+)
 - 業績不振店舗等の減損損失の計上が前期より大幅に減少(+)



売上は計画並みに推移

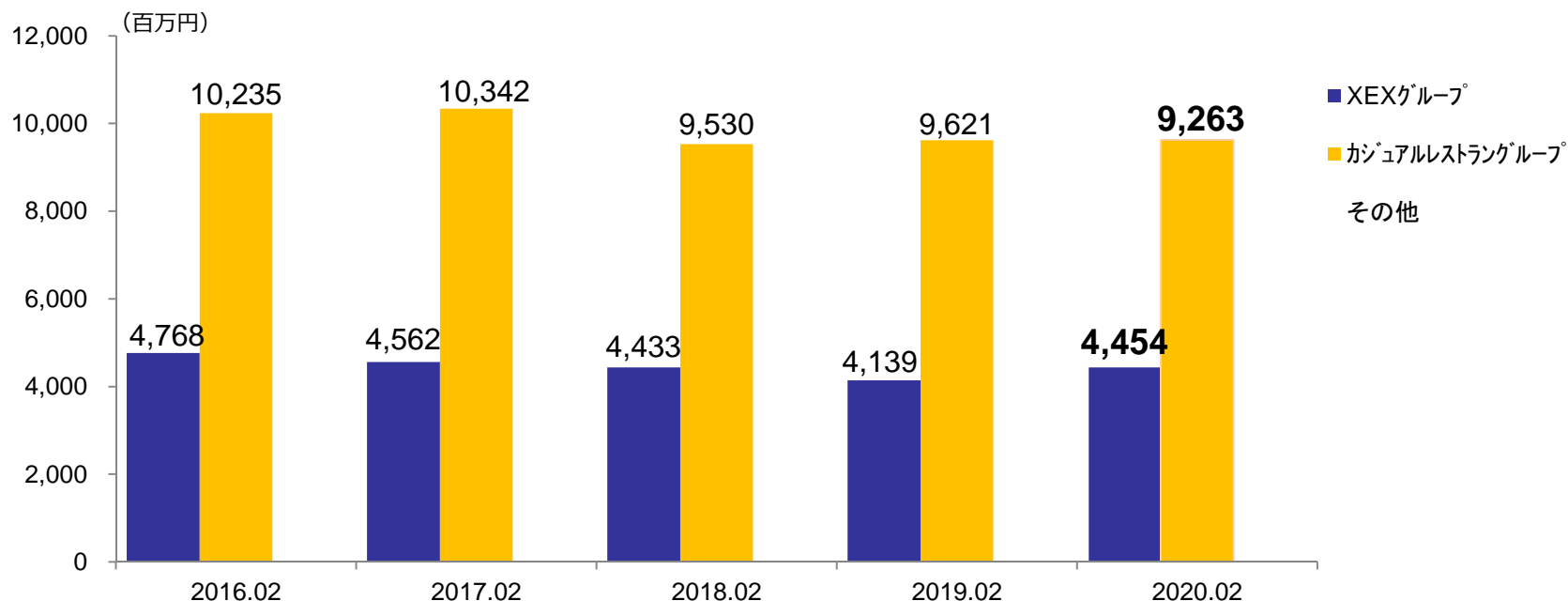


利益面で計画を下回る



売上はほぼ前期並み
利益は大幅に前期を上回る

通期売上高の推移



■ XEXグループ :

- 売上高前年同期比 107.9% (既存店 105.6%)
- XEXグループの売上高は、既存店が堅調に推移したことに加え、「The Kitchen Salvatore Cuomo 名古屋」のリオープンや運営受託の「SEL OCTAGON TOKYO」「BISTRO J_O」の売上が寄与したことにより、前年を上回った

■ カジュアルレストラングループ :

- 売上高前年同期比 96.2% (直営既存店 100.0%)
- カジュアルレストラングループの売上高は、既存店は概ね堅調に推移したが、「PIZZA SALVATORE CUOMO 聖蹟桜ヶ丘」等、直営2店舗の閉店、国内および韓国のFC店舗閉店の影響により、前年同期を下回った

2020年2月期 決算 業績概要 (連結貸借対照表)



単位：百万円（百万円未満切捨て）

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増 減	科 目	当連結会計年度	前連結会計年度	増 減
現金及び預金	1,064	963	101	買掛金	544	548	△3
売掛金	608	589	18	短期借入金	483	530	△46
棚卸資産	171	193	△21	未払金	642	661	△18
その他	164	148	15	未払法人税等	136	31	105
流動資産合計	2,008	1,894	114	その他	566	363	203
有形固定資産	1,608	1,756	△147	流動負債合計	2,374	2,135	239
建物及び構築物（純額）	1,300	1,510	△209	長期借入金	763	978	△215
その他（純額）	308	245	62	資産除去債務	821	831	△10
無形固定資産	35	87	△52	長期前受収益	147	16	131
のれん	10	53	△42	その他	184	132	52
その他	24	34	9	固定負債合計	1,917	1,958	△41
投資その他の資産	1,162	832	329	負債合計	4,291	4,094	197
投資有価証券	8	49	△40	資本金	830	830	-
長期貸付金	524	78	445	資本剰余金	900	900	-
敷金及び保証金	625	653	△27	利益剰余金	△1,237	△1,285	48
その他	8	53	△45	新株予約権	30	32	△2
固定資産合計	2,806	2,676	129	純資産合計	523	477	46
資産合計	4,815	4,571	243	負債純資産合計	4,815	4,571	243

- ・ 主な増減：現金及び預金の増加(101百万円)
- 長期貸付金の増加(445百万円)
- 長期借入金の減少(215百万円)

2020年2月期 決算 業績概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)



単位：百万円（百万円未満切捨て）

区分	当連結会計年度	前連結会計年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	244
税金等調整前四半期純利益	182	△481
減価償却費（のれん償却含む）	335	307
減損損失	50	414
持分法による投資損益	40	1
売上債権の増減額（△は増加）	△21	-
未払消費税等の増減額（△は減少）	127	9
前受収益の増減額（△は減少）	152	△62
法人税等の支払額	△16	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△660	△512
有形固定資産の取得による支出	△220	△277
貸付けによる支出	△446	△77
敷金及び保証金の差入による支出	0	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159	△280
長期借入れによる収入	300	400
長期借入金の返済による支出	△561	△667
セール・アンド・リースバックによる収入	137	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	101	△548
現金及び現金同等物の期首残高	963	1,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,064	963

- ・ 営業活動によるCFが向上
- ・ 関係会社に対する貸付により、投資活動によるCFが増加

(注) 主要項目のみ記載

2020年初来の動向

■ 2020年1-2月：

- インバウンド需要の低迷やパーティ等団体需要の落ち込みにより、XEXグループ店舗において売上が減少
- カジュアルレストラングループにおいても、一部店舗のイートイン業態で来客数と売上高が減少する傾向となった一方で、デリバリー業態における注文件数と売上高は増加

■ 2020年3-5月：

- 3月：パーティ・歓送迎会等の団体需要がほぼゼロとなり、イートイン業態における売上が全店的に低迷
- 4-5月：「緊急事態宣言」の発令に伴い、4月7月～5月31日までの期間を中心に、イートイン業態店舗休業
- 飲食店の閉店に伴って、デリバリー業態での注文件数と売上高が飛躍的に増加

■ 2020年6月：

- 「緊急事態宣言」の解除及び飲食店の営業時間短縮終了に伴って営業再開するも、オフィス立地のレストランでは売上の低迷が続き、回復ペースは予想より鈍化。回復には一定期間を要する見通し

直営店休業状況	店舗数	うち休業店舗数
XEXグループ	8	8
カジュアルレストラングループ	44	18

※2020年4-5月のうち14日以上休業となった店舗
 ※デリバリーのみ営業継続した店舗は除く

今後の対応

■ 店舗での対応：

- 衛生管理（手洗い徹底・スタッフのマスク着用・エントランスへの消毒液の設置・定期的な換気と清掃の実施）
- 入店・予約オペレーションの変更（時間差や人数制限による店内環境の維持）

■ 支払猶予依頼と手元資金の確保：

- 取引先への支払猶予の依頼
- 支払賃料の減額等の要請
- 緊急経済対策に基づく税金及び社会保険料の納税猶予制度の利用
- 取引金融機関からの借入金返済猶予と追加借入

■ コスト削減：

- 役員報酬や給与等の減額
- 雇用調整助成金の活用
- その他の費用削減施策の実施

2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では合理的に算定することが困難なため、未定とさせていただきます。
業績予想につきましては、今後開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

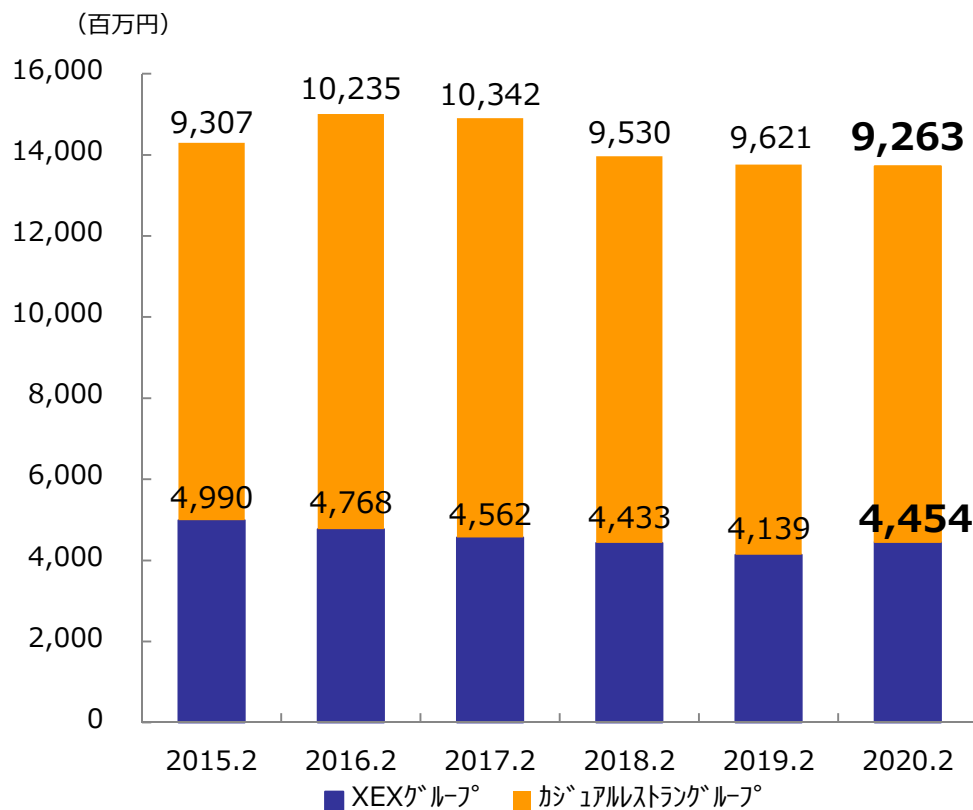
1. 2020年2月期 決算報告と次期の見通し

- 2020年2月期 業績概要
- 新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応

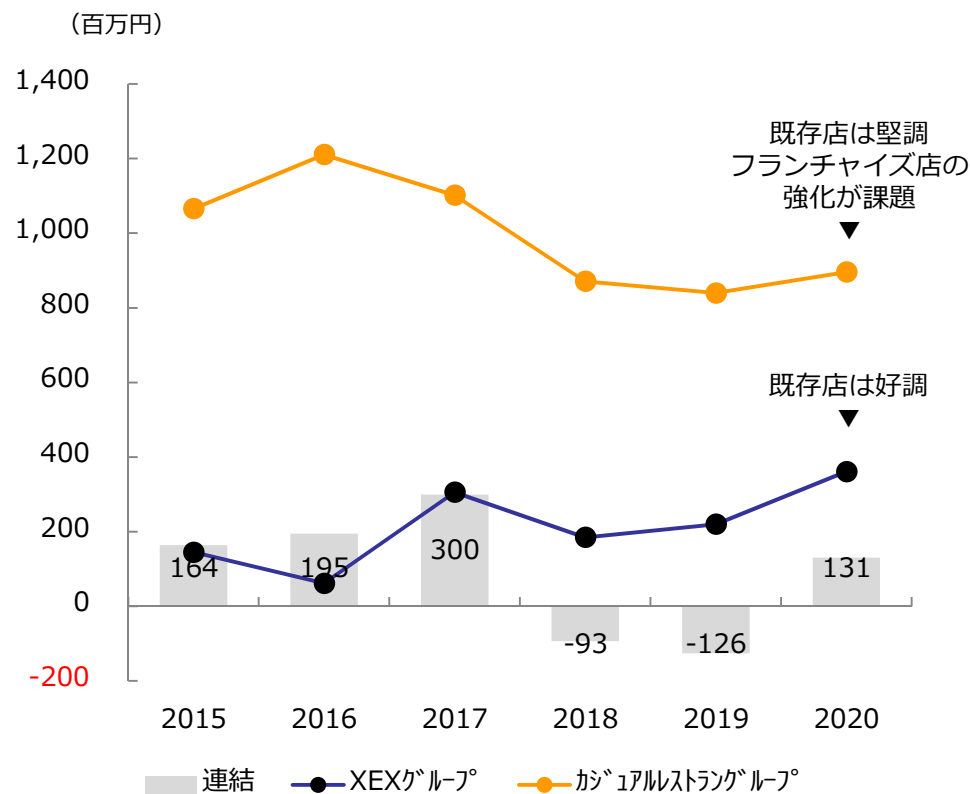
2. 当社グループの近況とトピックス

- 当社グループの売上・損益の状況
- XEX（ゼックス）グループ
- カジュアルレストラングループ
- 当社グループの事業セグメント

当社グループ 主要2セグメントの売上高推移



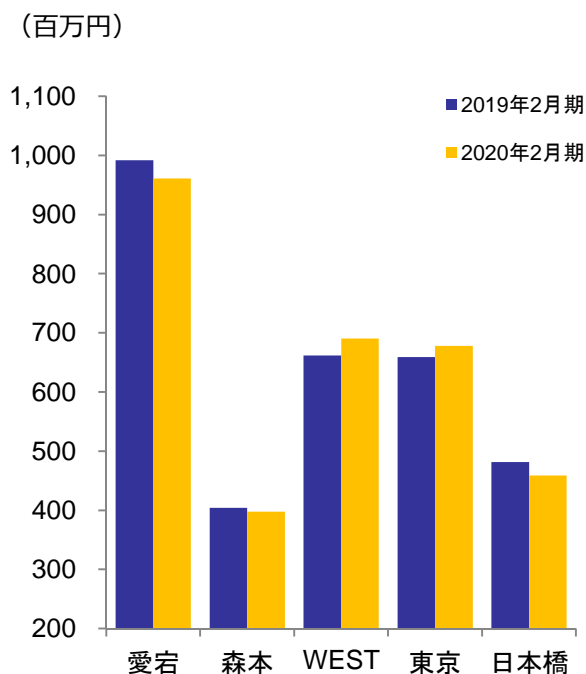
当社グループ 連結営業利益推移



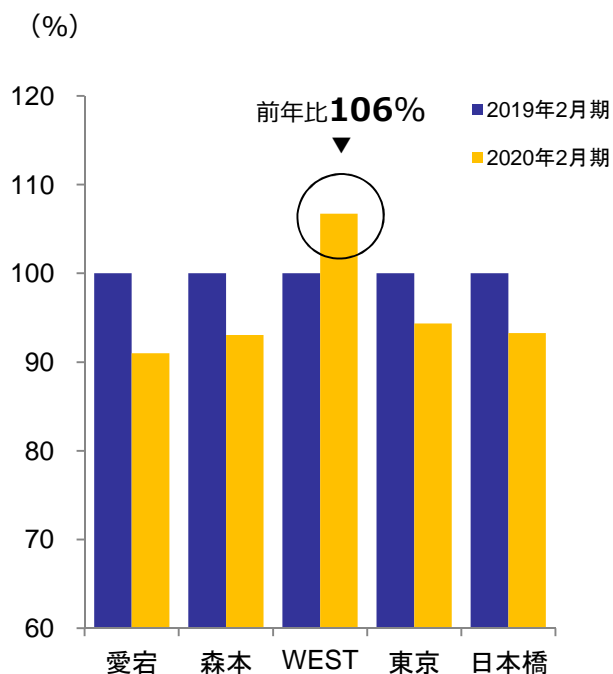
- XEXグループ：インバウンド需要やブライダル件数の増加により、既存店は概ね好調に推移
- カジュアルレストラングループ：料理・サービスの品質強化、改装やメニュー変更などの販売強化により、既存店は堅調に推移

XEXブランド*の売上高等の動向（2020年2月期）

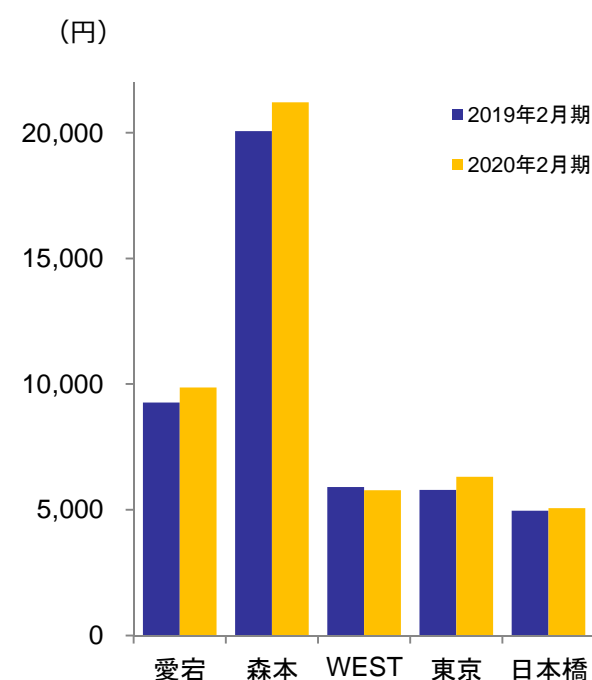
売上高



客数（前年を100とした比率）



客単価



- 「XEX WEST」ではbuffeメニューの見直しや販促強化により、客数・売上が増加
- ブライダルチームと店舗との連携強化により、ブライダル件数が増加し、各店の売上に貢献
- 東京都内4店舗では客数は減少したものの客単価が上昇。訪日外国人利用の多い「atelier 森本XEX」では前年プラス1,000円超

*XEXブランド店舗：愛宕・東京・日本橋・森本・WESTの5店舗

「CÉ LA VI TOKYO」事業の進捗

- ・ 東急不動産株式会社が「大人をたのしめる渋谷」をコンセプトに、2019年12月5日に開業した「東急プラザ渋谷」の17・18階に「CÉ LA VI TOKYO」をオープン
- ・ 17階には、カフェ&バー業態の「BAO by CÉ LA VI」とラウンジの「CÉ LA VI CLUB LOUNGE」を展開
- ・ 18階には、ファインダイニング「CÉ LA VI RESTAURANT & SKY BAR」を運営



BISTRO J_O
&
J_O CAFE
friendshop
with
JANTJE_ONTEMBAR

ようこそ、銀座ヒトリートへ。
WELCOME TO GINZA
"HITO-RI-EAT"

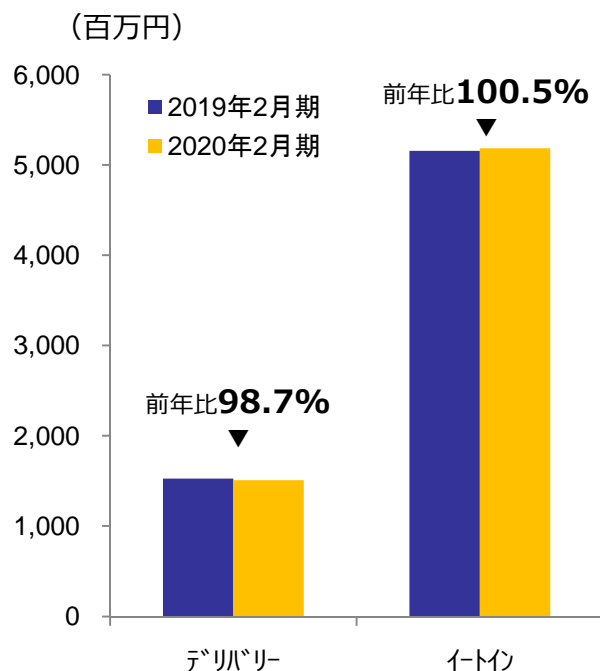
10.4 fri OPEN.
<https://j-o.tokyo/friendshop>

「BISTRO J_O」の飲食事業を運営受託

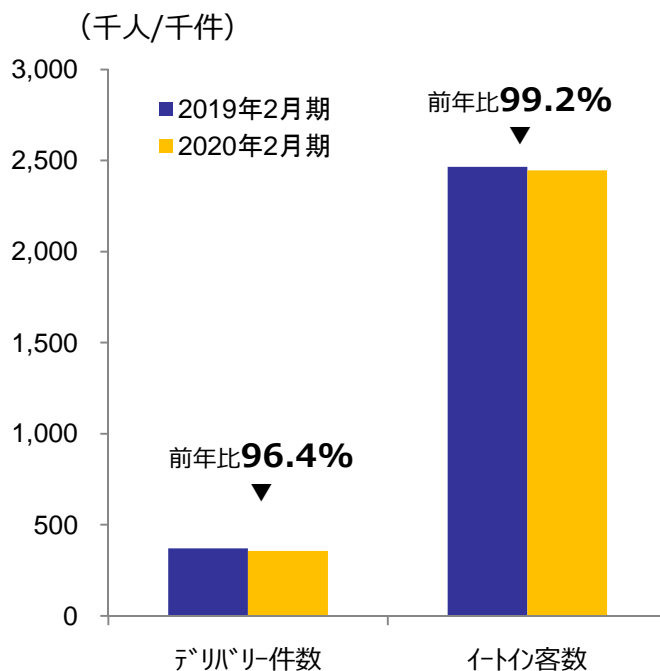
- ・ 2019年10月4日銀座にオープンした、「BISTRO J_O」の飲食サービスを当社にて運営受託
- ・ 稲垣吾郎氏のディレクションによるショップの魅力を最大限に引き出すべく、当社XEXグループが培ってきた料理技術とサービスを提供。
- ・ 下期以降業績へ寄与している

Salvatoreブランド*既存店における業態別売上高等の動向

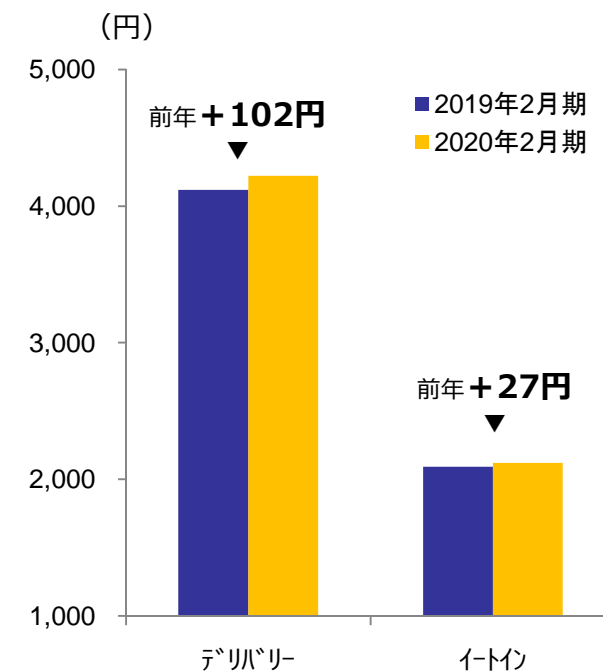
売上高



客件数



客/件単価



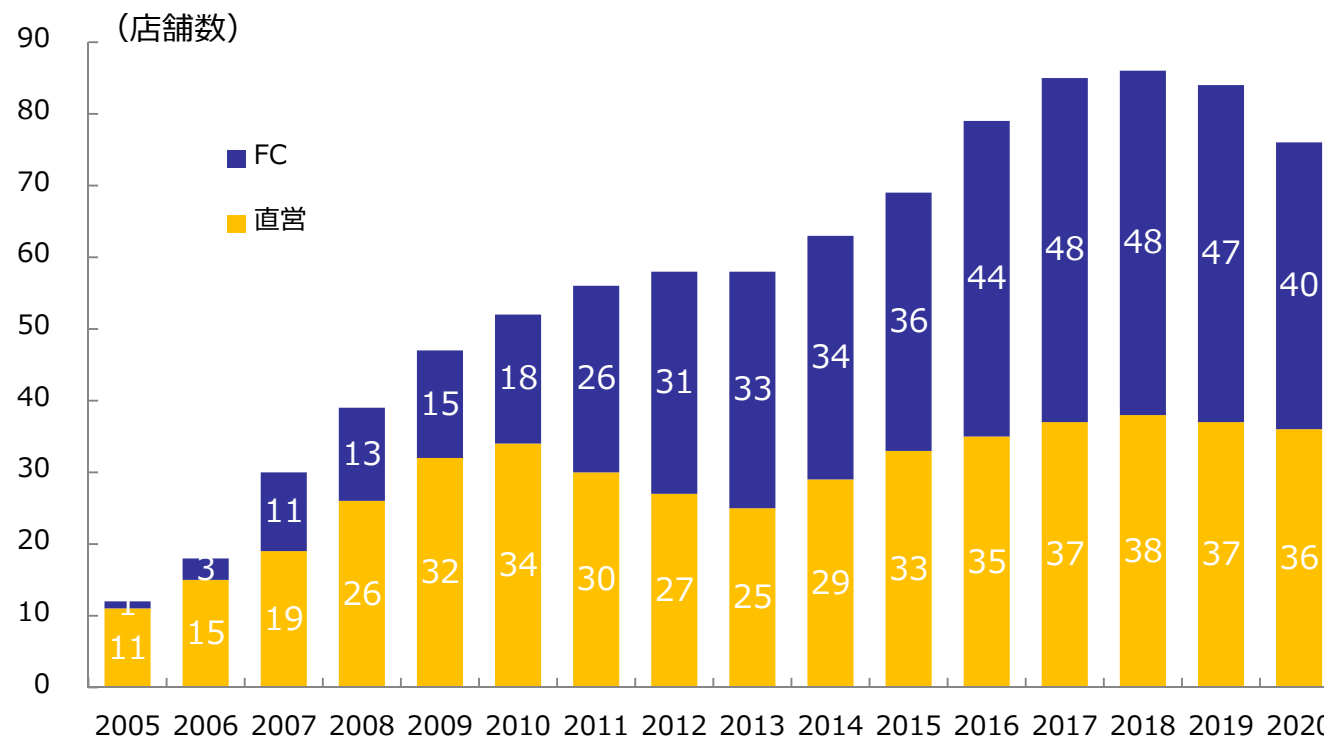
- イートインは客数・売上ともにほぼ前年並みで推移
- デリバリーは件数が減少したものの、客単価の増加により、売上は前年よりも1.3%マイナスとなる

*Salvatoreブランド：「PIZZA SALVATORE CUOMO」・「SALVATORE CUOMO & BAR」等のサルヴァトーレ直営既存店実績

Salvatoreブランド 展開状況*

地域	店舗数
北海道	2
東北	1
関東	42
北陸・甲信	3
東海	6
近畿	7
中国	3
四国	1
九州・沖縄	5
海外	6
合計	76

*2020年2月29日現在



- 2020年2月期は国内出店なし。海外では韓国FC5店舗を閉店
- 2021年2月期もSalvatoreブランドでの出店計画なし、既存店強化に集中

■ 既存店強化と2020年2月期のおもな取り組み

「Salvatoreの味」の再現性を強化



デリバリー新業態「肉市場」展開

丼ぶり Rice Bowl

<p>牛ハラミ丼(肉120g) Beef Skirt Steak Rice Bowl (120g Meat) 焼肉でも人気の牛ハラミを丼にしました。カルビより脂...</p> <p>¥1,274</p>		<p>牛ハラミ丼(肉150g) Beef Skirt Steak Rice Bowl (150g Meat) 焼肉でも人気の牛ハラミを丼にしました。カルビより脂...</p> <p>¥1,490</p>		<p>牛ハラミ丼(肉180g) Beef Skirt Steak Rice Bowl (180g Meat) 焼肉でも人気の牛ハラミを丼にしました。カルビより脂...</p> <p>¥1,706</p>	
<p>リブアイステーキ丼(肉180g) Rib-Eye Steak Rice Bowl (180g Meat) ステーキを贅沢に丼にしました。特製の醤油ベースのソ...</p> <p>¥1,944</p>		<p>リブアイステーキ丼(肉250g) Rib-Eye Steak Rice Bowl (250g Meat) ステーキを贅沢に丼にしました。特製の醤油ベースのソ...</p> <p>¥2,700</p>		<p>リブアイステーキ丼(肉300g) Rib-Eye Steak Rice Bowl (300g Meat) ステーキを贅沢に丼にしました。特製の醤油ベースのソ...</p> <p>¥3,218</p>	
<p>ローストビーフ丼〜半熟卵のせ〜 Roast Beef Rice Bowl 各店舗で手作りしているローストビーフを使った新商品...</p> <p>¥1,706</p>		<p>牛カルビ丼 Beef Spare Rib Rice Bowl 牛カルビを醤油ベースの特製だれを絡みこんで煮ばしく...</p> <p>¥1,274</p>		<p>二層カルビ丼 Double Layer Spare Rib Rice Bowl 牛カルビ(タレ)肉100gと豚塩カルビ肉100gのボリューム...</p> <p>¥1,944</p>	

肉市場
MEAT MARKET

- ▽ 料理：前期・上期に引き続き「Salvatoreの味」と構成をどの店舗でも再現できるよう、レシピや工程の改善・見直しを推進
- ▽ 働き方改善：一部店舗にて定休日を導入、30分単位での営業時間の見直しを実施し、スタッフの労働時間の抑制に努めた
- ▽ イートイン：ドリンクフェア・季節食材をつかったメニュー・プランの導入
- ▽ 都心店舗のデリバリー件数減少を受け、「STEAK THE FIRST」のノウハウを活かした新業態「肉市場」を展開
- ▽ デリバリー（Salvatoreブランド・肉市場）を中心にWEB媒体への掲載を強化

当社グループの事業セグメント

セグメント		主な事業内容	会社名	主な店舗名
XEX グループ	国内	高級レストラン等の運営	株式会社ワイズテーブルコーポレーション	XEX The Kitchen Salvatore Cuomo 名古屋 The Kitchen Salvatore Cuomo 京都 毛利 Salvatore Cuomo atelier 森本 XEX
	国内	カジュアルレストラン等の運営	株式会社ワイズテーブルコーポレーション	PIZZA SALVATORE CUOMO SALVATORE CUOMO & BAR PIZZA SALVATORE CUOMO & GRILL PASTA & PIZZA Salvatore Cuomo PRESTO Salvatore Cuomo 伊太利亜市場BAR こけこっこ Soba & BAR An STEAK THE FIRST Salvatore Cuomo 市場 Paul Bassett The Kitchen Salvatore Cuomo 銀座
カジュアル レストラン グループ	海外	カジュアルレストラン等の運営	株式会社ワイズテーブルコーポレーション	SALVATORE CUOMO & BAR (Manila) The Kitchen Salvatore Cuomo Seoul The Kitchen Salvatore & BAR SALVATORE CUOMO
	国内	食料品等の卸売、 小売事業及び 不動産賃貸事業等 労働者派遣事業及び 有料職業紹介事業	株式会社ワイズテーブルコーポレーション 株式会社Y's properties 株式会社シェフズ・ファームズ 株式会社パートナーワイズ	
その他の 事業	国内			

本資料は情報提供を目的としており、株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料には当社の出店計画や業績見通しなどが含まれております。

将来の計画・予測に関しましては、現時点で入手可能な情報もとに当社が合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が作成したものでありますが、リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

問い合わせ先：経営企画グループ
TEL：03-5412-0065